

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 観客の受入れに関する 林 文子 横浜市長コメント

昨日のIOC・IPC・国・東京都・組織委員会による五者協議及び関係自治体等連絡協議会において、オリンピック競技大会で、1都3県で観客の受入れを見送ることが決定されました。

現在、新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、東京都への「緊急事態宣言」の発令、神奈川県などへの「まん延防止等重点措置」の再延長が決まりました。この感染状況の中で、アスリートの皆様をはじめ、すべての方々にとって安全・安心な大会を実現していくためには、大変残念ですが、このたびの「無観客」の決定はやむを得ない判断だと思います。

このたびの決定に伴い、都市ボランティアの皆様による、開催中の活動は中止となります。これまで3年間にわたり、ご一緒に準備を進めてきた約2千名の皆様のおもてなしの思いに、心より感謝申し上げます。

横浜市は、感染症対策を徹底し、アスリートの皆様がベストを尽くすことができる環境を整え、世界中の観客の皆様の記憶に残る素晴らしい大会にしていくため、力を尽くしてまいります。

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課長 荒木 慎二 Tel 045-671-3645